

平成27年度 事業報告

(活動の目的)

弥生が丘地内のさまざまな地域課題の解決と地域資源の活用をめざし、三田市との協働のもと、弥生が丘の地域諸団体が参画して多世代・地域間交流の場の拡充や地域情報活動の円滑化を図った。

本年度も昨年度に引き続き、構成団体間の更なる連携の強化を図りつつ、地域住民と活動団体が一体となり、多世代・地域間交流事業を核とし、コミュニケーションを重視した活動を行い「安心・安全」で「住みよいまちづくり」を目的とした。

(活動の内容)

I. 主催事業

- 1) 協議会の組織づくりとして定例役員会を2カ月に1回の頻度で開催し、地域における課題の抽出、活動状況等について検討した。
- 2) コミセンにおける各種事務処理のために事務員3名を雇用した。事務員の業務は、日常の事務処理(コミセン受付、掲示・回覧物の処理、書類整理、電話対応 等)に加え、雇用に伴って購入したパソコンでタイムリーなホームページの更新や各種情報の磁気媒体化を行った。更に、各団体やサークルからの依頼処理及び多世代交流バス旅行時の参加者対応や金銭管理にも従事した。コミセンには年間約9000人が来場し、コミセンの業務が増加しつつあった。事務員の雇用によって、当施設のボランティアスタッフのタスク軽減並びに業務処理のスピード化に貢献した。
- 3) 老人会を中心とした健康増進・多世代事業(ニュースポーツ、ふれあいスポーツゲーム)を6回実施した。毎回、30名を超える参加者は弥生が丘地区をはじめ、他の地区からも集まった。
- 4) 地域の情報発信・青少年の健全育成事業として、まち協の周知にあわせた子ども見守り活動用着衣を100着作製した。夏祭り時にはスタッフ一同が着用して活動した。
- 5) 緊急時のAEDをコミセン内に設置した。設置時にはAEDの取り扱い及び救急救命の講習会を行った。

II. 共催事業

- 1) 多世代交流事業の一環として、京都へのバス旅行(京都水族館・智積院会館・井筒八つ橋本舗)を行った。参加者数は老若男女合わせて180名を超えた。参加者からは喜びの声が聞かれ、次年度も是非参加したいので企画してほしいとの声が多々あった。また、当該事業を行ったことにより、まちづくり協議会の周知にも大きく寄与した。
- 2) 市所有空き地の利活用の検討(三田市政の市民参加条例に基づいた申請書作成中)を行った。

III. 支援事業

- 1) 青少年の健全育成事業の一環として、弥生小学校の夏休みプール開放を行う際、プール監視員を雇用了。
- 2) 交通安全のための「飛出し坊や」を弥生が丘地内(2,3,4丁目)に4基設置した。
- 3) 地域交流事業として、昨年度より引き続いて「カフェやよい」の営業を行った。本年度からは、営業を毎週火曜日(昨年度は第1,3火曜日の月2回)とし、提供品も一部増やした上で49日営業した。1営業日あたり約20人の来客があった。